

みなさん、こんにちは。

記者の皆様には、お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の記者会見では、2つの項目について発表させていただきます。

はじめに、牛久市の物価高騰対応策及び補正予算案についてです。資料1をご覧願います。

今般、市におきましては、国の補正予算に計上された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰対応策第1弾を講じることとし、令和7年12月26日開催の令和7年第3回牛久市議会臨時会に補正予算案を上程いたします。

主なポイントは3つございまして、住民一人あたり5千円の商品券の配布、学校給食費無償化の前倒し実施、そして、社会機能を維持するために不可欠な事業者への支援であります。

また、対応策の規模は、約6億4千万円であり、主に国の交付金を活用いたしております。

最初の住民一人あたり5千円の商品券の配布については、市内の全世帯を対象に、住民一人あたり5,000円の「(仮称)牛久市生活応援商品券」を配布いたします。物価高騰に対応して市民の日々の生活を応援し、地域経済に寄与することを目的に、牛久市商工会が実施する商品券発行へ補助することにより、実施するものです。

2番目の学校給食費無償化の前倒し実施については、国において検討中の4月からの無償化を前倒しして1月から実施するもので、子育て世代家庭の家計負担を軽減することを目的に各家庭から徴収している給食費を1月以降市が負担いたします。

2ページをお開き願います。

3番目の社会機能を維持するために不可欠な事業者への支援については、介護施設など社会機能維持のために不可欠な事業

者へ物価高騰対応補助金を交付いたします。

対象としては、介護施設、障害者福祉施設、民間保育園・幼稚園、民間児童クラブ、医療機関、認定農業者を予定しており、事業者の種類に応じて、定額の補助金を交付するものです。

また、4番目にはありますとおり、今回、国の補正予算に盛り込まれた児童手当対象児童1人当たり2万円の物価高対応子育て応援手当について、あわせて予算案に計上いたします。

今後の物価高騰対応策ですが、今回の第1弾は、国からの臨時交付金約7億3千万円のうち、早急に講じる施策として国費約4億9千9百万円に相当する事業を実施いたします。今後、残る交付金を活用した更なる物価対応策を検討し、適時、第2弾以降の対応策を予算化し、実施する予定であります。

補正予算等については、この後、担当部長から補足説明いたします。

次に、令和8年牛久市新年賀詞交換会の開催についてです。記者会見資料2の2ページをご覧願います。

このたび、来年、令和8年1月7日水曜日に牛久市新年賀詞交換会を開催させていただく運びとなりました。

時間は、開場・午前10時30分、開会・午前11時、場所は、牛久中央生涯学習センター・多目的ホールになります。

本会の開催趣旨は、輝ける令和8年の新年を各界各位と共に祝い、新年の幸を共に分かち合い、ますますの発展を念願するものです。

会費制で、乾杯の飲み物と軽食をご用意する予定です。牛久市及び牛久市議会、牛久市商工会、JA水郷つくばが主催いたします。

牛久市にゆかりのある方であれば、どなたでも参加可能となっておりますので、ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

私からの発表は以上です。